

※記載例を参照の上、ご記入ください。

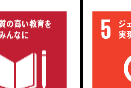
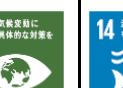
(様式第3号)

企業・団体名 (中部電力(株)再生可能エネルギーカンパニー 長野水力センター)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

[illegible]

7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）		・ダイバーシティの推進を重要な課題と位置付け、2007年に「女性活躍推進室」を設置し、その後、2013年に「多様な人材活躍支援室」、2018年に「人材活躍支援グループ」、2020年に「採用・人材活躍支援グループ」、2022年に「ダイバーシティ推進グループ」へと組織を発展的に拡大し、多様な人材の能力を最大限に活かして、企業価値の向上につなげるよう各種施策に取り組んでいます。 ・女性の活躍推進に向けた取り組み（aキャリア形成に重点を置き年代・階層別、育児期などにさまざまな研修を実施、b成長を加速するための業務付与や異動、全役付職を対象とした意識啓発教育を実施、c男女ともに仕事と家庭を両立できる制度・風土づくり）を実施しています。 ・チャレンジド（障がい者）の雇用促進（特例子会社である中電ウイングを含め、約350人[2023.6]のチャレンジドがさまざまな分野で活躍しています。） ・高齢者の活躍支援（再雇用者[定年退職者]が幅広い職域で活躍できるよう勤務時間などの労働条件について可能な限り社員				5.1 5.5		8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）		・競争力の源泉である人材について、一人ひとりの持つ資質・能力を最大限発揮できるよう、階層別研修をはじめとした育成を体系立てて行っています。 ・職場における能力開発（職場において、上長から日々の業務を通じた指導を行うとともに、半期ごとの面談により能力開発の目標・課題を確認し、次代を担う人材の育成）に取り組んでいます。 ・戦略人材育成に向けた取り組み（新しい事業領域において、新たな価値を創造していくために必要なスキルを習得するため、戦略立案やマーケティング、イノベーション、ファイナンスに関する研修に加え、アクションラーニング形式で実際にビジネスプランを立案する研修を開催）を実施しています。 ●動画学習コンテンツ(Udemy business)受講 ●資格取得支援 ●社外通信教育受講 ●業務スキルアップグループ活動			4	5.5		8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）		・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行います。				5.5		8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		・重大疾病の早期予防・発見および健康意識の醸成を目的とした全従業員の人間ドック受診を実施しています。 ・気軽に取り組める健康づくり行事を通じた自主的かつ継続的な健康づくりの支援を実施しています。 ・プレゼンティーズム（健康問題による出勤時の生産性低下）の改善など健康経営の実践による企業経営への影響分析を実施しています。		3				8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）		・エネルギー産業に携わる者として、環境問題への取り組みを経営の重要課題と位置付け、中部電力グループ環境基本方針のもとグループ全体で取り組みを進め、産業廃棄物等のリサイクルを推進し、目標リサイクル率95%の維持向上に努めています。2021年度の産業廃棄物等のリサイクル率は97.8%でした。								11.6	12		14.1				

12	環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・ 自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・エネルギー産業に携わる者として、環境問題への取り組みを経営の重要課題と位置付け、中部電力グループ環境基本方針のもとグループ全体で取り組みを進め、特に、地球温暖化対策では、「電気事業低炭素社会協議会」に参画し、電力業界全体でのCO2排出量削減目標の達成を目指していきます。						7.3					13							
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・ 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・「長野県地球温暖化対策条例に基づくエネルギー供給計画書兼実施状況等報告書」により、毎年の実績を把握し報告しています。						7.2 7.3				12.4	13.3							
14		【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・関係各団体との環境保全協定や公害防止協定に基づき、環境保全の諸対策を実施しています。また、周辺環境のモニタリング調査により、環境への影響について問題がないことを確認しています。 ・大気汚染対策では、排煙処理として硫黄・脱硝装置の設置などにより、火力発電所からのSOx(硫黄化合物)、NOx(窒素酸化物)の排出を抑制し、火力発電電力量あたりの排出量は世界最高水準を達成しています。			3.9			6.3				11.6	12.4							
項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・技術開発の推進や建設工事における生物への配慮をはじめとし、生物多様性の保全に努めています。 ・社有地や電力設備周辺で生育が確認された希少植物を保護するため、植物個体の増殖や群落再生に関する研究に取り組んでいます。 ・河川管理施設および周辺地に侵入する特定外来生物(植物)の駆除を進め、生物多様性の保全に努めています。						6.6								15				
16		【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の 3Rに取り組んでいます。2021年度の産業廃棄物などの発生量は4.6万tとなりました。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・既設水力発電設備は、逆水電力量低減などの取り組みを継続的に実施し、当初計画以上の発電電力量増加を目指すとともに、水力一貫運用の強みを活かした生産性向上を推進し、水資源を最大限に活用していきます。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO14001(2004)に基づいた自己宣言型の環境管理活動を展開しています。また、中部電力グループ各社でもグループ環境対策会議を通じて情報交換や研修などを定期的におこない、各社の事業形態に併せた効果的な環境管理活動を推進しています。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・ホームページ等により、適時適切に情報開示しています。											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・低炭素社会の実現は、世界的にも喫緊の課題です。その早期の実現を目指し、原子力と並ぶゼロエミッション電源である再生可能エネルギーについて、2030年頃を目標に320万kW以上の新規開発をおこないます。 ・再生可能エネルギー電源に由来するCO2フリー価値付きの電気をお届けします。							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・既設水力発電設備は、作業・故障等停止により発電できなかった電力量低減などの取り組みを継続的に実施し、当初計画以上の発電電力量増加を目指すとともに、水力一貫運用の強みを活かした生産性向上を推進し、水資源を最大限に活用していきます。											12.2	13	14	15				

22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「中部電力グループ・コンプライアンス基本方針」のもと、贈収賄・腐敗防止に向けて、新任役員や関係部門の新任者などを対象とした研修や接待・贈答に関する事例紹介などを実施しています。特に、外国公務員への贈賄防止に関しては、2013年4月に設置した「外国公務員贈賄防止会議」において、当社およびグループ会社における贈賄行為を防ぐための体制を構築・運用しています。													16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「中部電力グループCSR宣言」、「中部電力グループ調達基本方針」に基づき、公正・透明性を経営の中心に据え、経営および業務執行に対する適切な監督を行うとともに、迅速な意思決定を行うための仕組みを整備するなど、コーポレート・ガバナンスの一層の充実に努めています。													16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・知的財産に関する方針を定め、知的財産創造に対する啓蒙や他社権利の侵害防止に対する意識向上を目的とした「知的財産説明会」を開催しています。 ・全従業員を対象に知的財産の基礎事項や、技術者・営業担当者向けにより実務に密接にした講義をeラーニングにより提供しています。						8.2 8.3	9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・公益的使命を担う総合エネルギー企業として、個人情報(「個人番号」、「特定個人情報(「個人番号」をその内容に含む個人情報)」を含みます)を適正に取り扱い、その保護を図ることが、重要な社会的責務であると考えています。この責務を果たすために、法令等を遵守するとともに、「個人情報保護基本方針」を定め、個人情報保護に積極的に取り組んでいます。 ・個人情報(特定個人情報を含む)をはじめ重要な情報を適切に管理するため、法令などに則り、社内体制および情報の取り扱いルールを定めるとともに、情報セキュリティ強化や従業員教育などを実施しています。													16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			【非該当】 ・取り扱いしていません。													16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「中部電力グループCSR宣言」に基づき、「中部電力グループ調達基本方針」、「パートナーの皆さまへのお願い」を定め、中部電力グループとお取引先の皆さまとが、相互に信頼関係の醸成に努め、パートナーシップをより強固なものとするとともに、協同してサプライチェーン全体で、企業の社会的責任(CSR)を果たし、社会の持続可能な発展に貢献していきます。				5		8	10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3				8	9	10					17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・安価で高品質なエネルギーを安全かつ安定的にお客さまにお届けすることが、公益事業者としての中部電力グループの最大の責務であると考えています。そのために、グループの全従業員が持てる力を現場で最大限に発揮して、電力の安定供給に取り組んでいます。 ・お客さまに安全で安価な電気を安定してお届けするため、安全性の確保を前提に、供給の安定性、経済性、そして環境の保全の同時達成を目指し、原子力、火力、再生可能エネルギーなどの太陽光電源をバランスよく組み合わせた電源構成の確立に取り組んでいます。 ・発電所から変電所まで送電線により電気を運びます。変電所からは配電線によりお客さまに電気をお届けしています。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・良質な電気を安全・安価で安定的にお届けするため、2018年度の一連の大規模災害を受けて取りまとめたアクションプランを確実に実施していくとともに、訓練を通じた対策の実効性を高め、電力インフラのレジリエンス(強靱性、回復力)の強化に努めていきます。 ・スマホアプリ「停電情報お知らせサービス」の提供を通じ、いち早くお客さまに停電情報および復旧状況をお知らせするとともに、チャットで電気設備に関する相談ができるなど、お客さまへの情報発信を強化しています。								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「中部電力グループ環境基本方針」に基づき、低炭素社会の実現に向け、原子力発電の安全性向上対策、再生可能エネルギー(水力、陸上風力、バイオマスに加え、洋上風力や地熱等の新たな取り組みを含む)や高効率火力発電の開発(高経年火力を高効率で環境負荷の低い最新鋭火力へ計画的にリプレイスと燃料調達を含めた運用の最適化)などに取り組んでいます。						6					12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・少子高齢化や人口の偏りが進み、人と人とのつながりが薄れていく「コミュニティの希薄化」という社会課題に対し、さまざまなつながりを生む「新しいコミュニティの形」を提供することで解決を目指します。 ・それらを実現するため、低炭素化、お客さま起点、デジタル化をキーワードとした「コミュニティサポートインフラ」を創造していきます。 ・コネクテッドホーム(明るさに応じた照明調整、エアコンの最適運転、宅内確認などが可能となり、高齢者の見守りをはじめ安心で快適な生活を提供していきます)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献 地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・エネルギー事業を取り巻く環境変化への対応を加速させるため、2021年3月に「中部電力グループ環境基本方針」を見直しました。 ・当社グループのあらゆる事業活動は、お客さまをはじめとした地域社会の皆さまから信頼に支えられていることから、地域社会の皆さまとの環境コミュニケーションを通じて信頼関係を一層深めるとともに、事業者としての説明責任の履行、適切な情報開示に努めています。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「中部電力グループ社会貢献基本方針」に基づき、地域の安全・安心の確保、環境の保全、次世代教育、そして文化・スポーツ活動の4つを重点テーマとして、さまざまな活動に取り組んでいます。(例: 地域への無償保安点検、記念日植樹券プレゼント、出前教室の実施、ラグビー部による高校生指導)				4							11			14	15		17

41	【社会的責任】 ・ C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・CSR(企業の社会的責任)の考え方について、全てのステークホルダーの皆さまに対して、わかりやすく明確なメッセージの形でお伝えするため、2006年に中部電力の「CSR宣言」を制定しました。その後、グループ全体でCSRに取り組む点や、ステークホルダーの皆さまとともに社会の持続的な発展に貢献する観点を盛り込むための改定を経て、「中部電力グループCSR宣言」を掲げています。 ・この理念をグループで共有しつつ、業務の遂行を通じて、この宣言に掲げた取り組みを着実に進めていま																	16
42	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・大規模災害発生時においても継続すべき業務を確実に実施するため、BCP(事業継続計画)を作成するとともに、継続的に改善するBCM(事業継続マネジメント)の仕組みを通じて、非常時への対応力の維持・向上を図っています。									9		11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・お客さまから選ばれ続け、持続的に発展していくためには、多様な人財がそれぞれの能力を伸ばし、活躍できることが重要だと考えています。女性や高齢者、チャレンジド(障がい者)といった方たちにとっても働きやすく、すべての人財が活躍できるよう、教育や職場環境の整備を推進しています。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定